

## 【協働の評価】

<p>協働で進めて いきたい理由</p>	<p>平成27年度からぶらり鎌倉マップの作成を行い、令和3年度には観光マップ「鎌倉」の作成を行ったが、その高い精度から好評を得ており、「歩く観光」の推進への寄与と観光客への正確な観光情報の発信が見込めるため。</p>
<p>協働の 成果・効果</p>	<p><b>【協働の成果目標】</b> 更なる地図面の改良及び観光客への正確な観光情報への提供</p> <p><b>【達成できた点】</b> ぶらり鎌倉マップや観光マップ「鎌倉」、駅の案内板等と表現が統一され観光客にとって分かり易くなった。市から提供される最新情報（文学館の休館、ハイキングコースの通行止め情報、記念碑の移設等）を盛り込むことが出来た。</p> <p><b>【達成できなかった点】</b> 地図に関する情報は毎年累積し更新しているので特に達成できない点は特に無かった。</p>
<p>相互評価</p> <p>※上手くいったこと 問題点・課題など</p>	<p><b>【事業実施前】 ★3</b> ○市 事業開始から地図面の校了までの期間が短くなったため、早めの準備ができるようにしたい。</p> <p>○団体 情報の正確性と作業の早めの準備には努力した。</p> <p><b>【事業実施中】 ★4</b> ○市 文化施設等の観光情報だけでなく避難場所等の情報についても見直しを行った。</p> <p>○団体 機動力を活かした調査、諸々の経済動向からの費用負担が増えたことには悩まされ、努力したが今後負担軽減が課題。</p> <p><b>【事業終了時】 ★5</b> ○市 記載情報の更新改良のため、関係機関への照会や意見の提供をお願いしていたが、今年度だけでは拾いきれない意見もあった。</p> <p>○団体 情報量が飛躍的に増えた分、地図を見慣れていない人たちにはわかり難くなった部分がある。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>まだカバーしきれしていないエリア（大船、玉縄、腰越）のマップの作成、ネットのアプリとの連携が必要と考えている。</p>